

成田空港活用協議会
令和4年度 事業報告
(資料編)

目 次

(1) ビジネス支援事業

○アクティビティ(体験型)商品開発	1
○航空／空港関連企業との商談会	3
○ランドオペレーターとの商談会	8
○脱炭素社会推進支援事業	10
○日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客	14
○成田空港・周辺地域と連携したワーケーション・テレワーク推進事業	17
○東京2020大会のレガシーの活用	19
○空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組	20
○将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業	23
○地域課題解決のための検討会	34
○第1回県内経済活性化ビジネスセミナー	37
○第2回県内経済活性化ビジネスセミナー(柏の葉に学ぶ産業集積と北千葉道路開通への期待)	39

(2) 空港利用促進事業

○空港利用回復事業	41
-----------	----

(3) 基本的な取組

○首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望	48
○会員向け情報発信	50
○会員提案の募集・具体化	53

(4) その他

○プレスリリース	54
----------	----

(1)ビジネス支援事業

アクティビティ(体験型)商品開発

県内へのインバウンド誘客に繋がる新たなアクティビティ(体験型)商品開発を会員と連携し、5か年事業として実施した。

新型コロナウイルス等の影響により当初計画していたツアーの磨き上げや一部有償によるモニターツアーの実施、旅行商品としての販売ができなかったため、令和4年度は、平成30年度から令和3年度にかけて実施したモニターツアーの振り返りや参加事業者へのヒアリング等により、これまでの活動から得た知見をとりまとめるとともに、同内容について会員等へ共有するための報告会を開催した。

[展 開]

1 レポートの作成について



全41ページ。活用協会HPの会員専用ページにPDF版にて提供。

2 報告会の開催について



オンライン報告会の様子

- ・日 時：令和4年9月14日（水） 13：30～14：30
- ・場 所：オンライン（ZOOM）
- ・参加者：28名

[協力会員]

（株）Orange

[総 括]

- 報告会について参加者からは「キラーコンテンツがなくとも地域の日常やヒトに価値があることが改めて認識できた」「コロナ渦後のインバンド需要の考え方について参考になった」といった反応が得られた。
- アクティビティ（体験型）商品開発に係る取り組みについては、会員団体による事業の自走化を図っていく。

航空／空港関連企業との商談会

航空／空港関連企業と会員企業を含む県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス(取引)の実現を図り、県経済の活性化につなげる。

5回目の開催となる今回は、食品の卸売・小売・機内食等を展開するバイヤーと県内食品事業者との個別商談及び展示商談を実施し、取引機運醸成を図った。



個別商談の様子①



個別商談の様子②



あいさつする佐久間会長



あいさつする熊谷特別顧問（千葉県知事）



展示商談の様子①



展示商談の様子②

[展 開]

- ・ 日 時 : 令和4年11月1日(火) 10時00分～16時30分
 - ・ 場 所 : ホテル日航成田(成田市)
 - ・ 参加者 : バイヤー 15社(16部門)
サプライヤー 46社(県内に事業所・生産拠点をもつ企業等)
 - ・ 開催方式: 事前マッチング型の個別商談及び展示商談
 - ・ 対象品目: 「千葉ならではの」という特徴をPRできる商品
-
- ・ 今年1月以来の開催となる今回は、「おいしい千葉と空の商談会2022秋」と題して、JALグループやANAグループをはじめとした航空／空港関連企業へバイヤーとして参加を募り、サプライヤーは、千葉県内に事業所等を持つ企業・商店・生産者を対象に参加を募った。
 - ・ 開催に当たっては、参加者の安全・安心を第一に考え、「3密対策」に取り組む、受付での検温・消毒の実施等の感染予防対策を講じた。
 - ・ 個別商談は、事前マッチング型とし、1コマ20分で午前3コマ、午後6コマを実施した。
 - ・ 過去2回では情勢を踏まえて実施を見送った展示商談における試食・試飲を感染予防対策を施した上で復活させ、バイヤー・サプライヤーの接点の拡大を図った。
 - ・ 前回に続いて、商談会に精通した専門家((一社)千葉県中小企業診断士協会)の協力の下、バイヤーへのニーズ調査、商談先の提案などマッチング調整に力を入れた。結果として、合計139件の個別商談(各バイヤー平均8.7商談)を実施することができた。
 - ・ 商談スキルの向上等を目的としたサプライヤー向けの事前説明会(Youtubeによるオンライン配信)を開催し、ノウハウの提供や成約に向けた助言を行った。その他、FCPシートの作成支援や相談体制の構築等、専門家による個別フォローを実施した。
 - ・ 商談会後も、成約に向けた後押しや商談時の反省(今後に向けた整理)等を促すため、専門家による個別フォローを実施した。
 - ・ 商談会の4か月後、サプライヤー向けの事後研修会(Youtubeによるオンライン配信)を開催し、バイヤー向けヒアリングで得られた情報を踏まえ、今後の商談成約率を高めるために必要なポイントやノウハウを網羅的に講義した。

[商談会当日のアンケート結果]

<商談の成果>

- バイヤー参加者数=16社(うちアンケート回収16社)

- ・商談数合計＝１４８件（※展示商談を含む）
 - ・具体的な商談成約をした＝１２件
 - ・成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい＝１０２件
 - ・継続的な商談の可能性が低い＝３２件
 - ・無効回答数（未回答）＝２件

●サプライヤー参加者数＝４６社（うちアンケート回収４６社）

- ・商談数合計＝１５１件（※展示商談を含む）
 - ・具体的な商談成約をした＝２５件
 - ・成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい＝１１２件
 - ・継続的な商談の可能性が低い＝１２件
 - ・無効回答数（未回答）＝２件

<商談会についての主な意見・コメント>

（バイヤー）

- ・当方の業態柄、原料や素材、業務用での使用が可能なサプライヤーさんが多いとありがたいと思います。商品の加工工程で当方の使いやすい型に変更できるような企業様とは、今後もお付き合いできればと思います。
- ・素敵な商品のご案内があった。可能であれば、地元根付いた個人経営のパティシエ様の商品ご紹介をお願いしたい。
- ・地球環境にやさしい食材が多く、千葉から全国へ美味しい食材を広げるお手伝いが出来ればと思っています。今後、何社か商談を行いたいと思っています。
- ・千葉県産にこだわらず「中食」等を展開できるサプライヤー等もあると検討しやすいか。

（サプライヤー）

- ・展示商談にもう少しお客様が来ていただけると活発な商談ができそう。初めて参加しましたが、実のある商談ができて良かったです。
- ・安定出荷について難しい部分もあったが、非常に勉強になった。改良をしていきたい。
- ・バイヤー様が気になる点など、勉強させていただきました。
- ・来場される方がもう少し多いかと思い、試食が無駄になってしまった。でも異業種との交流は楽しかったです。
- ・今後も長い意味でこの商談会を通して、成田という立地を生かして、海外に向けての足掛かりにしていきたい。
- ・全体的にですが、もう少し時間が欲しいです。
- ・イスがあると助かります。アナウンス音量が大きすぎて商談内容が把握しづら

い時がある。

- ・商談の成約はないが、6社の方と話せる機会を持てたことは非常に有意義だった。継続的に商談を行い、1社でも多く取引ができるようにしていきたい。
- ・受付や控室での案内はもっとわかりやすく説明してほしい。
- ・すごく好意的なご評価が多く、ステキな時間となりました。また事務局の皆様の手厚いフォロー心より感謝申し上げます。いただいたチャンスをしっかりつかんでいけますよう、引き続き頑張ります。
- ・具体的な商品の成約はなかったが、弊社の取組等で今後「お付き合いができる」と嬉しいです」とのコメントを頂きました。
- ・時間割など柔軟な運営にさせていただき、助かっています。お客様より関係者が多い印象もあるので、展示会場にはほかのバイヤーさんも入れるようにしていただく等、時間を有効活用できるようにしたいです。
- ・商談のセオリー等ご指導いただき、あらためて勉強になりました。

[商談会2～3か月後のアンケート結果]

<商談会後の継続商談及び取引開始状況>

- バイヤー参加者数＝16社（うちアンケート回収16社）
 - ・商談会後にあらためて商談を行ったバイヤーの数＝11社
 - ・商談会後にあらためてバイヤーが商談を行った件数＝36件
 - ・商談会後に取引開始となったバイヤーの数＝7社
 - ・商談会後に取引開始となった商談件数＝15件
 - ・全体の個別商談数に対して取引開始となった商談の割合（成約率）
＝10.8%（15件/139件）
- ※参考 前回2022冬 8.9%（14件/157件）

[協力会員]

日本航空(株)、全日本空輸(株)、成田商工会議所、成田地区ホテル業協会、
(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、(株)グリーンポート・エージェンシー

[総括]

- 前回に続いて（一社）千葉県中小企業診断士協会の協力を得て、サプライヤーへの指導・支援を丁寧に行い、商談のレベルを一定水準に保つことで、当日ベース及び2～3か月後ベースの成約率が前回は上回った。
- 当日での商談成立には至らずとも、バイヤー・サプライヤー双方から「継続的な商談をしていきたい」という声が多く聞かれ、通常であればなかなか接点を持つことができないうえに、コロナ禍で取引が停滞しがちな状況下においても新たな商機獲得に貢献することができた。

- 新型コロナウイルスの感染予防対策については十分配慮しつつ、参加者が商談を行いやすい環境作りに努め、参加者からは、特段、否定的な反応はなかった。感染予防対策が緩和されてきている状況下ではあるが、次回以降も開催時期に必要な感染予防対策に十分配慮しつつ、参加者が商談を行いやすい環境作りを引き続き検討する。

ランドオペレーターとの商談会

インバウンドの本格的な回復に備え、成田空港を利用した千葉県への訪日外国人観光客誘致を目指し、東アジアや東南アジア向けの手配を手掛ける国内ランドオペレーター※と、県内の観光・宿泊・交通事業者や市町村との商談会を実施する。

千葉インバウンド促進協議会との共催により平成27年から年1回開催しているが、近年は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送っており、3年ぶり6回目の開催である。

※ランドオペレーター：在外旅行会社の依頼により、日本国内の宿泊施設、交通、食事、入場施設等の地上手配を専門に行う事業者であり、商品造成に大きく関与する。



商談会の様子 ①



商談会の様子 ②

[展 開]

● 令和5年2月16日（木）

①商談会 15:00～ @京成ホテルミラマーレ（千葉市）

【内容】講演（千葉県の施策等）／個別商談（10分×15回程度）

②交流会 18:00～ @京成ホテルミラマーレ（千葉市）

【内容】感染対策を講じた上で飲食提供

● 令和5年2月17日（金）

①ゴルフ交流会 集合9:00 @季美の森ゴルフ倶楽部

【参考】過去の商談会開催地（直近順）：館山市、成田市、木更津市、九十九里町、成田市

[関係・協力団体(会員)]

千葉インバウンド促進協議会、千葉県（空港地域振興課成田空港共生室）

[アンケートの結果]

商談会参加者	セラー	25社、42名
	バイヤー	18社、28名



交流会の様子 ①



交流会の様子 ②

- 商談件数 (回答のあったバイヤー15社)
15件以上・3社(20%)、10～14件・8社(53%)、7～9件・4社(27%)
最大21件、最少7件であった。
- 商談の課題
希望通りの商談・87%、バイヤーとセラーの提供データに開きがあった・13%
- ツアーの造成課題
 - ・今回の商談会で魅力的なコンテンツが見つかったが、未送客エリアだったことから、千葉県コンテンツに対する知識がまだまだ不足していた。(バイヤー)
 - ・千葉県は広く、観光箇所が多岐に渡るので、個人旅行ではハイエース等を使用しているが割高。一日4万円貸切プランを提供して欲しい。(個人旅行バイヤー)
- 観光素材の要望
 - ・トルコ航空は、イスタンブール空港8時間以上の乗継客に対して無料で(イスタンブール)市内観光や近隣ホテルでのショートステイを提供している。千葉県も成田市観光をトランジット客に対して提案してはどうか。
 - ・千葉県は海産物・農産物の高さに対して、外国人に十分に認知されていないのが残念。今後PRの方法も含めて検討いただきたい。
- 感想
満足・・・100%
- 商談会の必要性
必要・・・100%

[総括]

- 3年振りとなる開催で注目度の高い商談会となった。共催の千葉インバウンド促進協議会の参加者会員との細やかな連携により、アジアをメインに活動してるランドオペレーター他に、新たにヨーロッパ等をメインに活動しているランドオペレーターの方にも参加いただいた。
- 参加した会員からは、今後も引き続き行って欲しいとの声があった。参加者からの要望事項などを踏まえ、次年度以降も継続的(年1回程度)開催を検討する。

脱炭素社会推進支援事業

県内企業において脱炭素への取組が遅れており、その主な理由が脱炭素に取り組むノウハウの不足であることを踏まえ、脱炭素を進めるに当たっての基本的事項、具体的な脱炭素の進め方、取組事例等を取り上げることで、会員の脱炭素に向けた取組を支援するため、セミナーを開催した。



環境省関東地方環境事務所
地域脱炭素創生室 和田課長の講演



千葉県温暖化対策推進課 宮腰副主幹の講演



(一財) 省エネルギーセンター
藤本省エネ技術センター長の講演



(株)千葉銀行法人営業部
成長ビジネスサポート室 羽山室長の講演



意見交換の様子①



意見交換の様子②

[展 開]

- ・ 日 時：令和5年2月22日（水）13時30分～16時30分
- ・ 場 所：TKPガーデンシティ千葉 4階コンチェルトA
- ・ 参加者：会場参加者 22名
オンライン参加者 46名（申込者数）
- ・ 内 容
 - （1）第1部：講演
 - ①地域脱炭素の実現に向けて一脱炭素を進めるにあたっての基本的事項—
環境省関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室（放射能汚染対策課長）
和田 直樹 氏
 - ②千葉県の脱炭素の取組や県の補助金について
千葉県 環境生活部 温暖化対策推進課 企画調整班 副主幹
宮腰 克広 氏
 - ③カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ
一般財団法人省エネルギーセンター 省エネ技術本部
省エネ技術センター長 藤林 晃夫 氏
 - ④千葉銀行の脱炭素の取組や県内企業の脱炭素の取組
株式会社千葉銀行 法人営業部 成長ビジネスサポート室 室長
羽山 明 氏
 - （2）第2部：意見交換及び名刺交換（会場参加者のみ）
 - ①各班で自社・自団体の脱炭素の取組状況、課題等（課題を中心に）について、
意見交換
 - ②各班から意見交換概要の発表
主な発表内容について、講師の方からのご発言。
 - ③名刺交換
講師の方及び会場参加者の方で自由に名刺交換。

[アンケート結果] 総数27件

- （1）地域脱炭素の実現に向けて一脱炭素を進めるにあたっての基本的事項—
事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか
 - ・ 大いに得られた 9件
 - ・ ある程度得られた 17件
 - ・ どちらでもない 1件
 - ・ あまり得られなかった 0件
- 主な意見
 - ・ 日本国内の動向がよくわかった。
 - ・ 自治体と企業の連携に関して、今後の取り組みに向けて参考となった。

(2) 千葉県の脱炭素の取組や県の補助金について

事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか

- ・大いに得られた 8 件
- ・ある程度得られた 1 4 件
- ・どちらでもない 5 件
- ・あまり得られなかった 0 件

主な意見

- ・脱炭素化に向けた県の動向、施策、補助制度について、理解できた。
- ・今後何をしなくてはならないかの、アイデア創出に役に立つ情報満載であった。

(3) カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ

事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか

- ・大いに得られた 1 1 件
- ・ある程度得られた 1 3 件
- ・どちらでもない 3 件
- ・あまり得られなかった 0 件

主な意見

- ・GDPと経済成長率、化石エネルギーと非化石エネルギー、世界平均気温の変化、サプライチェーンなど、脱炭素に関する基本的な事項の理解に大いに役に立った。
- ・省エネ活動の具体的な進め方や省エネ関連補助金について、理解できた。

(4) 千葉銀行の脱炭素の取組や県内企業の脱炭素の取組

事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか

- ・大いに得られた 8 件
- ・ある程度得られた 1 5 件
- ・どちらでもない 4 件
- ・あまり得られなかった 0 件

主な意見

- ・金融面でのバックアップについて主にグループ会社等で活用できるかと思った。
- ・具体的なファイナンスの事例が聞けて有意義だった。

(5) 意見交換及び名刺交換 ※総数 1 2 件

事業展開に役立つヒントなど、成果は得られたか

- ・大いに得られた 7 件
- ・ある程度得られた 3 件
- ・どちらでもない 2 件

- ・あまり得られなかった 0件

主な意見

- ・県内自治体・企業のそれぞれの課題の生の声が聞けて良かった。
- ・さまざまな業界の人との意見交換は、とても有意義だった。

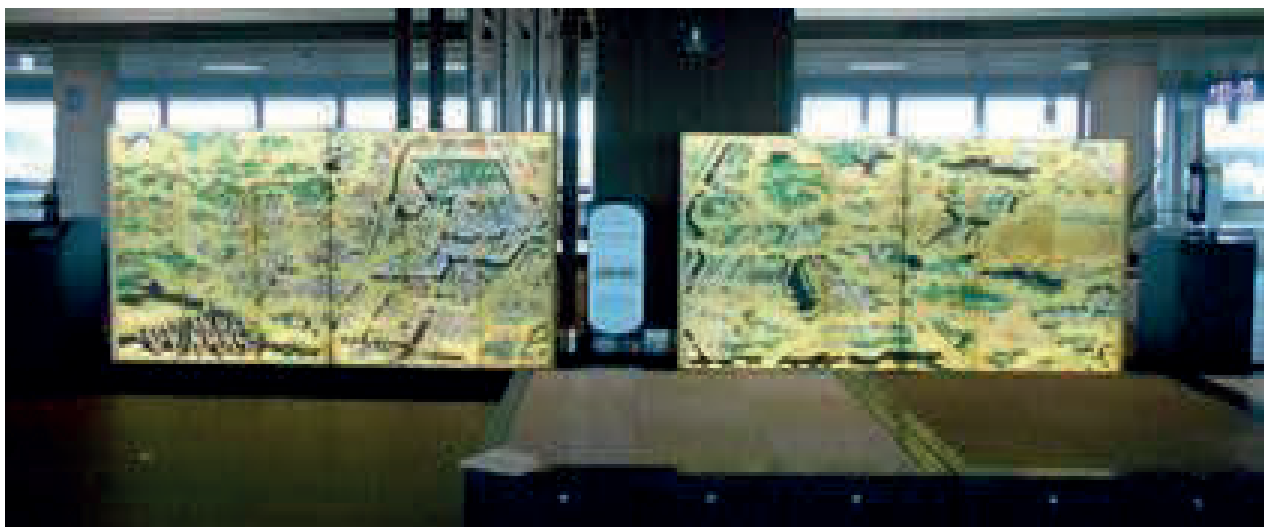
[総括]

- 参加者からは、「自治体と企業の連携に関して、今後の取り組みに向けて参考となった」「脱炭素に関する基本的な事項の理解に大いに役に立った」「様々な業界の人との意見交換は、とても有意義だった」などの声が寄せられ、本セミナーの開催は、事業目的である「会員の脱炭素に向けた取組を支援」に一定程度、寄与するものであったと考えられる。
- 引き続き、脱炭素関連のセミナーを開催する等、県内の脱炭素化を推進するとともに、会員のビジネスチャンス拡大・イノベーションの促進に繋がる事業の実施を検討する。

日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

「光る江戸図」の展示を通して、日本人旅行者及び訪日観光客に対して日本の歴史と文化への親しみと興味を喚起し、周辺市町を中心とする近隣エリアへの訪問を促す。

令和元年度に制作し成田国際空港での展示を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により展示場所が閉鎖された状態が続き、十分な効果を得られていないことから、所期の目的を達成するため空港内での設置を継続し、展示再開を目指す。



展示の様子

〔展 開〕

国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風^{※1}」にNTT東日本等の技術を活用し制作した「光る江戸図」の空港内設置(展示)について、令和5年3月末までとしている展示期間を令和6年3月末まで1年間延長する。

展示品を通して、国立歴史民俗博物館の位置する佐倉市をはじめとする近隣エリアへの誘客を促し、交流人口の拡大を目指す。

※1 江戸図屏風：江戸時代初めの江戸（東京）とその周辺を描いた屏風。江戸時代の初期の絵画資料は少なく、研究対象としても貴重な存在である。

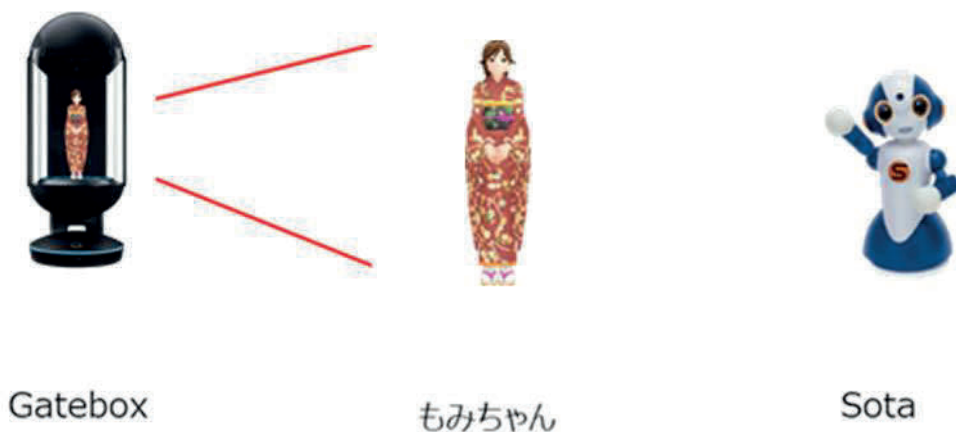
● これまでの経緯

令和2年3月12日	空港第2ターミナル(NARITA SKY LOUNGE 和)内で展示開始
令和2年4月8日	新型コロナウイルス感染症の影響により展示場所閉鎖 (以後、現在まで展示中断中)
令和3年4月	展示場所の閉鎖継続やオリ・パラの延期を踏まえ、展示期間を令和3年9月末まで延長

令和3年9月以降	展示期間を令和6年3月末まで延長するとともに、移設先等についても並行して検討
現在	展示中断継続

● 解説用 ICT 機器

キャラクター召喚装置である「Gatebox」とコミュニケーションロボットの「Sota」を設置。両機器とも、言語選択ボタンを押すことで、日本語、英語、中国語、韓国語の4つの言語で屏風の解説を聞くことが可能。「Gatebox」では、国立歴史民俗博物館3Dキャラクターの「もみちゃん」が解説する。



● 現在地での設置を継続する理由

次の理由により現在地での設置を継続しつつ、移設の可能性も探りながら、展示の早期再開を目指したい。

- ① 空港利用者に対して日本の歴史・文化への関心を高めてもらい、県内への誘客を図ることを目的に事業を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりわずか1か月で展示が中断している。所期の目的を達成すべく、空港内での展示再開を目指したい。
- ② 現在、設置場所への立入は不可であり、移設・撤去作業は行えない。
- ③ 空港内での移設について検討したが、現状適切な移設先がない。
- ④ 設置期間を延長しても展示中断中は経費がかからず、支出は発生しない。
- ⑤ 国立歴史民俗博物館及び成田国際空港から展示継続の意向が示されている。

[関係・協力団体(会員)]

国立歴史民俗博物館、佐倉市、NTT東日本千葉事業部、千葉銀行、成田国際空港

[総括]

- 「光る江戸図」及び解説用ICT機器の成田空港内の展示を令和2年度から開始したものの、新型コロナの影響により展示期間数か月で展示場所が閉鎖されている。

- 現状展示会場への立入不可のため、移設・撤去できない状況を踏まえ、コロナ収束後立入不可の解除がされてから再稼働を検討したい。また、再稼働し空港内展示の終了後は会員自治体への貸出しや出張授業など、近隣エリアへの誘客・交流人口の拡大に資する取組を検討実施する。

成田空港・周辺地域と連携したワーケーション・テレワーク推進事業

成田空港を起点としたワーケーション・テレワークの推進を図り、関係人口創出を通じた地域活性化を目指す。



セミナーの様子



情報交換会の様子

〔展 開〕

ウィズコロナの観点から、国内で浸透しつつあるワーケーション・テレワークの取組について、成田空港を起点に県内へ推進する。将来的には、成田空港経由のワーケーション誘客による関係人口創出をねらいとする。

近畿日本ツーリスト株式会社と連携し、セミナーにて先進事例や企業の取組を学ぶとともに、会員相互の交流を促進することで、成田空港・周辺地域のワーケーション受入体制の構築に取り組んだ。

ワーケーション：Work と Vacation を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場とは異なる場所で仕事を継続しながら、地域での活動も行うこと

● セミナー開催

日 時 令和4年10月25日（火） 13時30分～16時00分
場 所 成田市文化芸術センタースカイタウンホール3階多目的ホール
参加者 19名
関係・協力団体(会員) 近畿日本ツーリスト株式会社千葉支店

【第一部】セミナー

(1) 近畿日本ツーリストのワーケーションへの取組について

近畿日本ツーリスト 千葉支店 小宮 めぐみ 氏

(2) ワーケーションの現状・他地域の取組等について

(一社) 日本テレワーク協会 主席研究員 大沢 彰 氏

(3) ワーケーション トークセッション

(一社) 日本テレワーク協会 主席研究員 大沢 彰 氏

(一財) 地域活性化センター シニアフェロー 箕浦 龍一 氏

(4) 千葉県『ちばワーケーション受入促進事業』について

千葉県商工労働部観光企画課魅力ある観光地づくり推進班

高梨 健太 氏

【第二部】情報交換会（エリアや業種ごとに実施）

[アンケート結果]

●セミナー参加理由

- ワーケーションを通じてビジネスを検討・・・10.5%
- 関心のあるテーマだったから・・・・・・・・50.5%
- 成田空港活用協議会が主催するセミナー・・・10.5%
- 会場が行きやすい場所だったから・・・・・・・・28.5%

●本セミナーの満足度

- 大変満足・・・4.5%
- 満足・・・・・・・・95.5%
- やや不満・・・0%
- 不満・・・・・・・・0%

●その他意見

- ・講師同士のワークセッションも良かったが、2部での情報交換会において、講師自ら参加いただいて相談できたのが、良かった。
- ・近隣市町村・企業の取組や現状が聞けたのが、良かった。
- ・人との繋がりが大事なのを痛感した。本セミナーように、プロの方に相談・聞いてもらう機会は非常に有意義だと感じた。
- ・支援体制をどう活用するのかの、説明会・体験会・先進事例を実地している自治体や企業からの、生の声を今後聞きたい。

[総括]

- ワーケーションについては、令和2年から始まったコロナ禍を契機として、リモートワーク環境の整備が急速に進んだことにより、出勤を伴わない「テレワーク」や「ワーケーション」に注目が集まった。
- 千葉県内でも、成田空港を有する優位性や東京に隣接した立地性により、一部ワーケーションを進める動きが多くみられてきてはいるが、当協議の会員については、関心はあるものの、導入自体を検討していないのが実情であった。
- 今後については、会員団体による事業の自走化を図っていく。

東京2020大会のレガシーの活用

主に障害のある人が行う「パラスポーツ」の魅力に触れられる体験イベントに、成田空港のPRなどのため、成田空港活用協議会が作成したエコバッグを提供した。

[展 開]

「パラスポーツフェスタちば2022」に当協議会が作成したエコバッグを100部提供した。

● パラスポーツフェスタちば2022

パラスポーツやゆるスポーツの体験、チームを組んで行う対抗戦を通して、パラスポーツの魅力が体感できるイベント（年齢や障害の有無にかかわらず、誰でも参加可能）。

- ・開催日時 令和4年9月3日（土）9：30～17：30
- ・開催場所 千葉ポートアリーナ
- ・主 催 パラスポーツフェスタちば実行委員会
（千葉県、千葉市、（公財）千葉市スポーツ協会 等）
- ・体験会参加者数 約600名（事前申込で定員に達した）
- ・提供品の用途 パラスポーツ体験会に参加した人が参加できる抽選の景品



[総 括]

- 東京2020大会のレガシーとして県が実施するイベント「パラスポーツフェスタちば2022」と連携して、成田空港をPRした。

空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

航空／空港関連企業は、成田空港の機能強化に伴い、大量の従業員を確保する必要があると予測されていることから、航空人材の育成を図るため、県内高等学校における航空／空港関連業種に関する出張授業を行った。

高等学校における航空／空港関連業種に関する出張授業

- ・航空／空港関連企業の従業員数は、成田空港の機能強化に伴い、大幅な規模拡大が見込まれており、グランドハンドリングなど一部の職種においては将来的な人手不足が課題となっている。

[展 開]

高校生に航空／空港関連企業を就業先の選択肢としてもらえるよう、高校に航空・空港関係の実務経験のある講師を派遣し、航空／空港関連業種への興味や関心を高めてもらうための出張授業を県内４校で実施した。

① 千葉敬愛高等学校における出張授業

- ・実施日 : 令和４年１１月７日（月）
- ・日時 : １５時４５分～１７時１５分
- ・会場 : 千葉敬愛高等学校 マルチホール
- ・参加者 生徒 ３２名

進学を希望し、航空・空港業界の話について視聴を希望する１・２・３年生。

・内容・講師

「WORK at NARITA AIRPORT」(株) Flact

(空港の仕事全般について最初の１０分。航空業界の人材募集ＨＰの運営会社。以下同じ)

「ＪＡＬ現役グランドスタッフによる航空出張授業

～空港で活躍するグランドスタッフ」(株) ＪＡＬスカイ グランドスタッフ
出張授業の様子



② 千葉県立匝瑳高等学校における出張授業

- ・実施日 : 令和4年12月21日(水)
- ・日時 : 13時30分～15時10分
- ・会場 : 千葉県立匝瑳高等学校 化学講義室
- ・参加者 生徒 30名
進学を希望し、航空空港業界の話について視聴を希望する1・2年生。
- ・内容・講師
「WORK at NARITA AIRPORT」(株) Flact
「空港で働くANA現役社員による航空出張授業」
ANA成田エアポートサービス(株) グランド・グランドハンドリングスタッフ

出張授業の様子



③ 八千代松陰中学校・高等学校における出張授業

- ・実施日 : 令和4年2月18日(土)
- ・日時 : 11時00分～12時30分
- ・会場 : 八千代松陰中学校・高等学校 教室
- ・参加者 生徒 21名
進学を希望し、航空・空港業界の話について視聴を希望する中学1・2・3年生、高校1・2年生。
- ・内容・講師
「WORK at NARITA AIRPORT」(株) Flact
「JAL現役グランドスタッフによる航空出張授業
～空港で活躍するグランドスタッフ」(株) JALスカイ グランドスタッフ

④ 千葉県立松尾高等学校における出張授業

- ・実施日 : 令和4年3月16日(木)
- ・日時 : 13時00分～14時30分
- ・会場 : 千葉県立松尾高等学校 視聴覚室
- ・参加者 生徒 27名
高校卒業後就職を希望する2年生。航空・空港業界の話について視聴を希望する1・2年生。

・講師

「WORK at NARITA AIRPORT」(株) Flac t

「日本と世界を結ぶ、貨物のお仕事」 国際空港上屋(株) 貨物業務担当者

出張授業の様子



・内容

専門学校の先生から、特に高校卒業後採用のある職種（エアカーゴやグランドハンドリング、検閲官など）等を話題とした授業が行われた。

・参加した生徒の感想（アンケートから）

○今まで知らなかった航空関係のことについて、知ることができたのでとても良い経験になった

○実際にお話をうかがうことで、どのようなお仕事か知ることができて、貴重な経験になり良かった

○知っている仕事が多いと思っていたが、知らない仕事が多くて自分のやりたいことが見つけられそうだと感じた

○どんな仕事をしているのかテレビでしか見たことがなかったので、将来の選択肢が広がった

[総括]

- 「航空／空港関連業種についての出張授業」を県内高校において実施し、成田空港での様々な仕事の魅力について、県内高校生に対して紹介することにより、航空／空港関連業種への興味や関心を高めることができた。

将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業 (県内高校生を対象とした体験型航空教室)

航空・空港業界の人材育成・確保を図るため、昨年度に続き航空事業者と協働の上、空港関連企業への就職意識の醸成を目指して、県内高校生を対象とした「体験型航空教室」を実施した。ツアーを2回実施し、合計24校延べ133名の参加があった。

【展 開】

- 本航空教室では、空港の様々な仕事・職を知り、関心を持ってもらい、空港関連企業への就業意識の向上を図るため、通常では立ち入ることの出来ない制限エリア（ランプ内）や実機等を使用して、特別感のある様々な体験を実施した。また、座談会は、航空関連企業への理解を深めるため、現在も人材不足が問題となっている職種や普段目にする機会の少ない裏方のスタッフも加わって行った。



成田空港体験型航空教室

成田空港活用協議会では、成田空港で働く人材の育成・確保を目的として、県内高校生を対象とした「体験型航空教室」を実施します！
航空・空港に関わる様々な現場スタッフとの意見交換会、格納庫や制限エリア内での仕事見学など、他では体験できないプログラムとなっておりますので、航空・空港業界への就職に関心のある方はもちろん、普段空港に馴染みのない方も、ぜひ気軽にご参加ください。

参加費 無料

TOUR 1
開催日 **2022.11.23 WED**
エアライン **日本航空株式会社 (JAL)** 定員 **80名**

SCHEDULE

- 9:00 集合・ガイダンス
成田空港第2ターミナル (JAL オペレーションセンター前)
- 9:45 **Aグループ** **Bグループ**
ランプ内周遊バスツアー・出発前お見送り体験
①Aグループ ②Bグループ
③グラウンドスタッフ業務紹介・アナウンス体験等
④航空機整備工場見学
- 11:30 昼食 (JAL 特別ランチボックス)
サウララウンジ
- 13:15 **Aグループ** **Bグループ**
ランプ内周遊バスツアー・出発前お見送り体験
①Aグループ ②Bグループ
③グラウンドスタッフ業務紹介・アナウンス体験等
④航空機整備工場見学
- 15:00 JAL グループスタッフとの座談会等
JAL オペレーションセンター
- 16:30 解散

※1 状況による内容の変更となる可能性があります。
※2 Aグループ・Bグループに分かれて体験に参加します。※3 乗車は随時となります。

TOUR 2
開催日 **2022.11.27 SUN**
エアライン **全日本空輸株式会社 (ANA)** 定員 **80名**

SCHEDULE

- 9:00 集合・オープニング
成田空港第1ターミナル (ANA スカイセンター前)
- 9:25 **Aグループ** **Bグループ**
①チェックイン業務・アナウンス体験
②搭乗作業・フライトバック見学・出発前お見送り体験
- 12:30 昼食 (ANA オリジナル機内型)
ANA スカイセンター
- 13:15 ANA グループスタッフとの座談会等
ANA スカイセンター
- 14:05 **Aグループ** **Bグループ**
ランプ内周遊バスツアー
バスで機内設備を見ながら見学、飛行機クイズ
- 15:35 クロージング
ANA スカイセンター
- 16:00 解散

※1 状況による内容の変更となる可能性があります。
※2 Aグループ・Bグループに分かれて1時間毎にそれぞれの体験に参加します。

参加をご希望の方は裏面の注意事項をよくお読みいただき、お申込書にご記入の上、担当の先生に提出してください。

募集チラシ

- 募集人数 : 160名 (TOUR 1 [GPA+JAL] 80名、TOUR 2 [GPA+ANA] 80名)
- 申込者数 : 147名 (男性33名、女性109名、先生5名)
- 参加者数 : 133名 (男性32名、女性98名、先生3名)
- 参加高校数 : 24校 (公立20校、私立4校)

令和4年度初参加は7校。空港周辺9市町からは5校参加。

1 TOUR1 (GPA+JAL)

【実施日時】：令和4年11月23日（水・祝） 9：00～16：30

【開催場所】：成田国際空港第2旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：23校77名（男性14名、女性61名、先生2名）

【スケジュール】：グランドスタッフ業務紹介・体験 又は 航空機整備工場見学

→ ランプ内周遊ツアー → 出発機お見送り体験

→ 現役スタッフとの座談会

【当日の状況】

(1) ①グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験〔選択制：48名参加〕

・グランドスタッフから成田空港第2ターミナル出発階と国内線ゲートにおいて、業務の内容、お客様対応でのポイント等の説明を受けた後、チェックインやアナウンス業務の体験、各施設の見学をした。



グランドスタッフ業務紹介の様子



チェックイン、アナウンス体験の様子



(1) ②航空機整備工場見学〔選択制：29名参加〕

- ・成田空港内の整備工場において整備士による業務紹介、格納庫の見学をした。



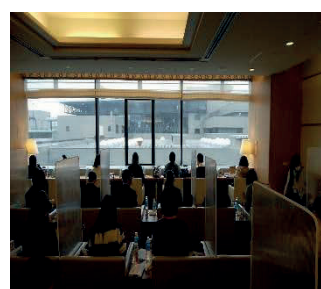
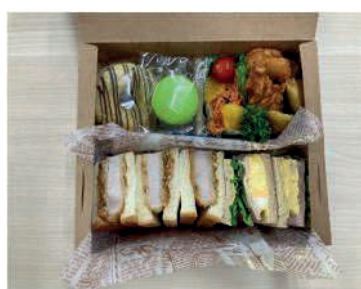
航空機整備の業務紹介の様子



格納庫見学の様子

(2) 昼食

- ・国内線ラウンジで特製ランチボックスをいただいた。



(3) ランプ内周遊バスツアー・出発機お見送り体験

- ・バスに乗って通常は立ち入ることの出来ない制限エリア（ランプ内）の説明を受けながら4,000mのA滑走路の外周、空港の基本となる施設等を車窓から見学した。また、バスツアー中に降車し、第2ターミナルビル62番スポットから出発する飛行機のお見送りを体験した。



バスツアーの様子



出発機お見送り体験の様子

(4) スタッフとの座談会

- ・参加者を6グループに分け、スタッフから、仕事内容ややりがい等について説明を受けた。また、生徒から航空業界を目指したきっかけ、学生時代に勉強しておくべき教科等について質問をした。



座談会の様子

【アンケート結果】

参加者に対して、体験型航空教室を通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認する為アンケートを実施した。(主な結果は以下のとおり)

①あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？ () は参加後の回答

【回答数】73件 (参加後の回答：73件)

- | | | | |
|--------------------------|-----|------------|---------|
| ・ 働きたいと思っていた(思った) | 56% | (参加後：77%) | 21pt UP |
| ・ 働きたいとは思っていなかった(思わなかった) | 11% | (〃 : 1%) | |
| ・ どちらとも言えない | 33% | (〃 : 22%) | |

②「働きたいと思っていた」へ、どんな仕事をしたいと思っていましたか？

【回答数】54件

- | | | |
|------------|-----|-------|
| ・ グランドスタッフ | 17件 | (31%) |
| ・ CA | 10件 | (19%) |
| ・ パイロット | 7件 | (13%) |

・管制官	6 件 (11%)
・グランドハンドリング	4 件 (7%)
・航空整備士	3 件 (6%)
・ディスパッチャー	2 件 (4%)
・その他 (空港内飲食店、等)	5 件 (9%)

※「働きたいと思っていなかった」理由は以下のとおり (いずれも数件)。

- ・「別にやりたい職業がある」、 「県外での就職を希望している」、「接客が苦手」等

⑤あなたが体験してみたいと思った (興味を覚えた、楽しかった) 内容はどれですか?

【回答数】128 件 (複数回答可) (参加後の回答: 163 件)

・グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験等	34% (参加後: 25%)	
・ 航空機整備工場見学	20% (” : 18%)	
・ランプ内周遊バスツアー・出発機お見送り体験	29% (” : 36%)	7pt UP
・現役スタッフとの座談会等	14% (” : 20%)	6pt UP
・その他	3% (” : 1%)	

⑥1日を通してあなたの満足度を教えて下さい。

【回答数】75 件

・大変満足	80%
・満足	19%
・普通	1%
・不満、大変不満	0%

<体験型航空教室参加者の主な意見>

(生徒)

- ・ 普段体験できないことに触れることができ嬉しかった。将来やりたいことがぼんやりとしか決まっていないので、今日色々な方からの話を聞いて航空業界に更に興味を持った。
- ・ めったにできない体験を多くできたので、一日中楽しかった。また、これから苦手なことがあっても頑張ってみようというモチベーションにつながれると思った。
- ・ 航空に関して無知であったが、整備の現場を見学できたり、様々な仕事について詳しく学ぶことができたので、興味を持った。
- ・ 航空業界の方々が丁寧に話をしてくださり、進路についても考えられる良い機会となった。
- ・ 座談会で仕事内容をよく知ることができて嬉しかった。グランドスタッフさんの体験も実際に近くで見たり少し体験もできてよかった。
- ・ 整備さんの進路の話を聞いて、自分の進路についてよく考えられるようになった。

- ・整備工場見学やランプ内周遊ツアーなどで自分の知らなかったことや仕事をしている人を見ることができて満足した。

(質問) どのようにすれば、航空業界への就職が増えると思うか。

(先生)

- ・高校の教員に航空業界の良さを知ってもらい、成田空港は千葉県にあるため、地元出身者の就職を増やしてほしい。

2 TOUR2(GPA+ANA)

【実施日時】：令和4年11月27日（日）9：00～16：00

【開催場所】：成田国際空港（ANA スカイセンター）及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

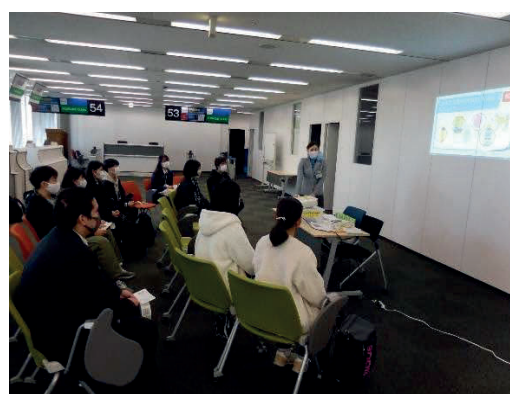
【参加者数】：16校56名（男性18名、女性37名、先生1名）

【スケジュール】：チェックイン・アナウンス業務紹介・体験 →
グランドハンドリング業務紹介 → 現役スタッフとの座談会 →
ランプ内周遊ツアー

【当日の状況】

(1) グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験

- ・グランドスタッフからスカイセンター内の研修施設において、お客様対応での大切なポイント等の説明を受けた後、チェックインやアナウンスを体験した。



グランドスタッフ業務紹介の様子



アナウンス、チェックイン体験の様子

(2) グランドハンドリング業務紹介

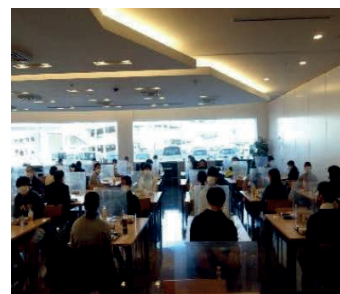
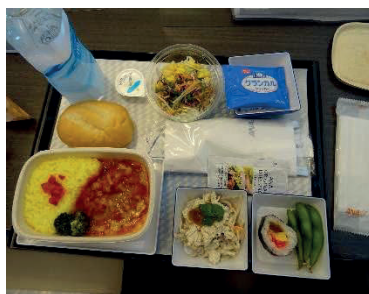
- ・通常では立ち入ることのできない制限区域（ランプ内）の駐機場において、グランドハンドリング業務紹介、特殊車両の特性や用途等について詳しく説明を受けた。また、ハイリフトローダーへの乗車体験をした。



グランドハンドリング業務紹介の様子

(3) 昼食

- ・スカイセンターの社員食堂でオリジナル機内食をいただいた。



(4) スタッフとの座談会

- ・参加者を9グループに分け、スタッフから、仕事内容ややりがい等について説明を受け、生徒からも、航空業界を目指したきっかけ、学生時代に勉強しておくべき教科等について質問をした。



座談会の様子

(5) ランプ内周遊バスツアー

- ・バスに乗って通常は立ち入ることの出来ない制限エリア（ランプ内）の説明を受けながら4,000mのA滑走路の外周、空港の基本となる施設等を車窓から見学した。



ランプ内周遊ツアーの様子

【アンケート結果】

参加者に対して、体験型航空教室を通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認する為アンケートを実施した。（主な結果は以下のとおり）

①あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？（ ）は参加した後の回答

【回答数】55 件（参加後の回答：55 件）

- | | | | |
|--------------------------|-----|------------|----------------|
| ・ 働きたいと思っていた(思った) | 64% | (参加後：85%) | <u>21pt UP</u> |
| ・ 働きたいとは思っていなかった(思わなかった) | 20% | (〃 : 2%) | |
| ・ どちらとも言えない | 16% | (〃 : 13%) | |

②「働きたいと思っていた」へ、どんな仕事をしたいと思っていましたか？

【回答数】54 件

- | | |
|--------------|------------|
| ・ グランドスタッフ | 11 件 (20%) |
| ・ パイロット | 9 件 (17%) |
| ・ CA | 9 件 (17%) |
| ・ グランドハンドリング | 5 件 (9%) |

・ 管制官	4 件 (7%)
・ 航空整備士	4 件 (7%)
・ 接客をする仕事	2 件 (4%)
・ その他 (入国審査官、等)	10 件 (19%)

※「働きたいと思っていなかった」理由は以下のとおり。

- ・「別にやりたい職業がある」、「県外での就職を希望している」、「仕事がきつそう」等

③あなたが体験してみたいと思った (興味を覚えた、楽しかった) 内容はどれですか?

【回答数】102 件 (複数回答可) (参加後の回答：162 件)

・ チェックイン・アナウンス体験等	27% (参加後：25%)	
・ グランドハンドリング作業等見学	20% (” : 23%)	3pt UP
・ ランプ内周遊バスツアー	25% (” : 24%)	
・ 現役スタッフとの座談会等	26% (” : 25%)	
・ その他	2% (” : 3%)	

⑥1日を通してあなたの満足度を教えて下さい。

【回答数】56 件

・ 大変満足	86%
・ 満足	14%
・ 普通、不満、大変不満	0%

<体験型航空教室参加者の主な意見>

(生徒)

- ・ 普段空港に行くだけでは体験できないことがたくさんあった。また、実際に働いている方と話せたのが嬉しかった。
- ・ 興味があったものを実際に体験できて、働く人の話を聞く事もできた。また、自分の進路について改めて考える機会ができて、すごくいい経験だったと思う。
- ・ 知りたかったことを知ることができたり、生の声を聴くことができたりしたおかげで、自分の将来について考えるきっかけとなった。
- ・ 軽い気持ちで参加したが将来を考えるいいきっかけになった。
- ・ バスツアーや実際にアナウンス体験などができ、航空業界で働いている人のやりがいや大変さを自ら体験することができた。
- ・ 体験授業の内容が楽しく、もっと知りたいと思えるものもあった。グランドスタッフとハンドリング以外も見学してみたい。

(質問) どのようにすれば、航空業界への就職が増えると思うか。

(先生)

- ・ やはり、現場で働く人の生の声を聞くことだと思う。航空業界に限った話ではないが、職業を「イメージ」でとらえるので、事実に基づかない情報で選択してしまうと思う。

見た目のイメージだけでなく、実際に働いている人の話を聞くことで、職業観を養い、志が強くなると思う。経験だけで選択してほしくはないが、経験があるとないとでは、想いに差が出てくるのは事実。飛行機に乗った経験がありそのときの印象で航空業界を志望する意識も芽生えると思うが、まだ高校生ではそういう経験を持つ生徒も少数なので、このような体験プログラムの機会は貴重であると考えている（一部要約）。

[メディア露出] 4件

千葉テレビ (令和4年11月23日)

Aviation Wire (令和4年11月24日)

千葉日報 (令和4年12月1日)

毎日新聞 (令和4年12月13日)

[総括]

- 今回の体験型航空教室は、昨年度実施したようないわゆる華やかなプログラム（周遊フライト及びフライングホム飛行機内での昼食と見学）はなかったが、参加者から非常に高い満足度が得られた。
- また、今回は、開催日数、参加者数を絞って行ったが、メディアについては、昨年度を上回る4社に取り上げられた。
- 参加した生徒の半数以上は、もともと『航空業界に興味がある』生徒であるが、本教室の参加後は、8割の生徒が航空業界で「働いてみたい」と回答していることから、全体を通して魅力的なプログラムを組むことができたと考える。
(参加前：59%→参加後：80%〔21pt増加〕)
- プログラムでは、特に出発機のお見送り体験、現役スタッフとの座談会は好評価であった。出発機のお見送り体験は雨が降ったため希望者のみを対象としたが、全員バスから降車して出発準備を機側で経験することができた。また、座談会は多くの職種の方々から直接、仕事のやりがい等について話を聞くことができた。
- 参加者の傾向として、グランドスタッフへの就職希望者が多かったものの、参加後は、今まで知らなかった裏方の仕事や現場で活躍する女性スタッフへ多くの好意的な感想が寄せられており、まずは「知ってもらうこと」が重要であるといえる。
- 一方、今回は開催時期の影響（期末考査前、修学旅行等の行事と重複）もあり、先生の参加が少なかった。事業目的である「空港関連企業への就職意識向上」には進路指導の先生の航空業界への理解も必要であると思料されることから、今後は本教室とは別に、先生向けの空港見学の開催についても検討することとしたい。
- 本教室については、将来にわたる人材確保という観点で、出張授業事業とも連携を図りつつ、体験内容の見直しを行いながら継続して取り組んでいきたい。

将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業 (成田空港合同企業説明会・見学会)

人材不足が懸念されるグランドハンドリング会社等、空港内関連企業21社による合同企業説明会・空港見学会の後援として、当協議会の自治体会員等を通して開催の周知を図った。

[展 開]

- (1) 日時 令和5年2月6日(月) 9:30～16:00
- (2) 場所 幕張メッセ 国際会議場2F 国際会議室
- (3) 概要 空港内関連企業21社による合同企業説明会・空港見学会
(主催：成田国際空港株式会社、後援：千葉労働局、成田空港活用協議会)
- (4) 参加企業 21社
- (5) 入場者数 477名



会場の様子

[協力会員]

自治体会員 45会員

[総括]

- 今後も成田空港や航空関連産業の従事者を確保するため、後援等の協力を継続することとしたい。

地域課題解決のための検討会

地域の会員のニーズを十分に把握するため、安房地域、夷隅地域及び東葛飾地域において、地域ミーティングを開催し意見交換を行った。

また、地域ミーティングでの意見を踏まえて、地域課題解決に向けて検討するための事業を実施した。

[展 開]

1 地域ミーティングによる意見交換の実施

当協議会は、様々な事業・取組を実施しているものの、空港から少し離れた地域にはその効果がなかなか見えにくい状況にあり、それらの地域の会員のニーズや課題に少しでも役に立つ事業展開をしていきたいと考え、地域ミーティングを実施している。令和4年度は、安房地域、夷隅地域及び東葛飾地域において、市町職員等とともに地域ミーティングを開催し、観光による地域活性化に係る現状や課題等について、意見交換を実施した。

(1) 安房地域ミーティング

[展 開]

- ・実施日：令和4年4月27日（水）
- ・日時：10時00分～11時40分
- ・会場：千葉県安房地域振興事務所 3階大会議室
- ・参加団体など：館山市、鴨川市、南房総市、南房総市観光協会、
(株)ちばぎん総合研究所
- ・オブザーバー：千葉県安房地域振興事務所

● 安房地域ミーティングの実施結果（概要）

- ・安房地域には、すでにSDGsを絡めた教育旅行のベースがあることや、南房総の地域資源を全て生かせるという理由から、SDGsをテーマとした教育旅行を広域で取り組んでみるというのはいかがかという提案を行った。
- ・しかしながら、6月から7月にかけて新型コロナの影響が一時的に和らいだことにより、安房地域の教育旅行が回復したため、本提案については、実施を見送ることとなった。
- ・その後、南房総市観光協会が新たにモニターツアーを計画したため、当該計画の実施に向けて検討することとなった。

(2) 夷隅地域ミーティング

[展 開]

- ・実施日：令和4年4月27日（水）
- ・日時：14時40分～16時40分

- ・会 場：いすみ市役所 3階会議室
- ・参加団体など：いすみ市、大多喜町、(株)ちばぎん総合研究所
- ・オブザーバー：千葉県夷隅地域振興事務所

● 夷隅地域ミーティングの実施結果（概要）

- ・成田空港から夷隅地域へ観光客を自家用有償旅客運送により送迎し、夷隅地域を観光した後、近隣の市町を周遊するモニターツアーの実施に向けて検討することとなった。

(3) 東葛飾地域ミーティング

[展 開]

- ・実施日：令和4年7月7日（水）
- ・日 時：10時00分～12時00分
- ・会 場：千葉県東葛飾合同庁舎 6階第1会議室
- ・参加団体など：松戸市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市、
(株)ちばぎん総合研究所、
- ・オブザーバー：千葉県東葛飾地域振興事務所、成田国際空港(株)

● 東葛飾地域ミーティングの実施結果（概要）

- ・成田空港から東京に行くインバウンドが民泊で東葛地域に宿泊しているが、地元がその魅力を観光資源と認識していないという問題意識を共有し、地域が連携して更なる魅力を創出できるような取組について検討を進めた。
- ・その結果、第2回県内経済活性化ビジネスセミナー「柏の葉に学ぶ産業集積と北千葉道路への期待」の開催（令和5年1月26日）につながった。

2 事業の実施

(1) 安房地域

- ・成田から安房地域へのインバウンドの誘客可能性を検討するため、南房総市観光協会が、成田・安房地域間にJR東日本の「B. B. BASE」（自転車とともに移動できる電車）を走らせるモニターツアーを計画した。
- ・活用協は、成田市及び成田市観光協会へ広報協力を依頼するとともに、県の「チーバくんパートナー」やエアラインの外国人乗務員等が当モニターツアーに参加するための参加費用や交通費等を助成し、インバウンド視点での意見・感想を事業実施者へ提供した。
- ・参加した県の「チーバくんパートナー」やエアラインの外国人乗務員へのアンケート結果では、ツアーへの満足度は高く、「イチゴや海鮮丼が美味しかった」「サイクリングで美しい風景を眺めながら日本文化を体験することができるのは良かった」などの声が寄せられた。また、「このツアーはどうすればもっと良

くなくとも思いませんか」とのアンケート項目に対しては、「外国人向けの宣伝と説明も増やせば、外国のサイクリング愛好者・観光客は増えると思う」などの声が寄せられた。

(2) 夷隅地域

- ・ 成田空港から夷隅地域へ国内外の観光客を呼び込むため、一般社団法人ツーリズムいすみへの委託により、観光コンテンツの開発及び実証事業を実施した。
- ・ 当該事業の実施に当たり、当協議会としては、1つの地域にとどまらない広域の観光コンテンツを造成するよう促した。
- ・ その成果として、自家用有償旅客運送を活用した成田空港発の3つのモデルコース（①チーズ工房と酒蔵巡り、②波の伊八の彫刻と城下町歴史散策、③いすみ鉄道と海辺でリトリート）を開発するとともに、これら3つのモデルコースから主要な要素を組み合わせて2日間に分けてモニターツアーを実施した。
- ・ 委託先の検証結果によると、自家用有償旅客運送に際して、成田空港において毎回固定の場所に停車できないなどオペレーション上の課題や、波の伊八の知名度が低い等の課題が把握できたほか、海がない場所から成田空港にやってくる方やインバウンド客には、海を見ろという要素が不可欠であることが認識できた。

[総括]

- 地域ミーティングを実施することにより、空港から離れた地域が抱える課題（成田空港発のインバウンドの取込み等）について把握することができた。
- モニターツアーやセミナーの実施結果について、参加者の受け止めは概ね好意的であった。参加者から得られた意見を関係者間で共有し、地域の課題解決につなげることとしたい。

第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

団体・企業価値向上と持続的成長のため、近年ますます注目が高まる脱炭素の取組について、総会開催にあわせて「第1回県内経済活性化セミナー」を開催した。



セミナーの様子 ①



セミナーの様子 ②

[展 開]

- ・ 日 時：令和4年5月23日（月）15：00～16：30
- ・ 場 所：TKPガーデンシティ千葉3F「シンフォニア」
- ・ 講 演：
 - ①持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた取組
講師：国土交通省 航空局 航空戦略室 カーボンニュートラル推進室
室長 岡 建典 氏
 - ②成田空港における脱炭素化に向けた取組
講師：成田国際空港株式会社 経営企画部門 経営計画部
サステナビリティ推進室 マネージャー 片岡 祥 氏
- ・ 参加者：101名

[アンケート結果] 総数52件

- (1)「持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた取組」
 - ◎大いに参考となった・・・・・・・・63.5%
 - ある程度参考になった・・・・・・・・32.7%
 - △あまり参考にならなかった・・・・3.8%
- (2)「成田空港における脱炭素化に向けた取組」
 - ◎大いに参考となった・・・・・・・・65.4%
 - ある程度参考になった・・・・・・・・30.8%
 - △あまり参考にならなかった・・・・3.8%
- (3)「今後の事業展開に役立つヒント等、成果は得られましたか」（自由回答）
 - ・ タイムリーな内容で、航空思想の普及を図っていく点でも参考になりました。
 - ・ 中長期的なビジョンを念頭に置き、コスト面を含めた対応が必要と痛感した。

(4)「脱炭素」をテーマとしたセミナーで取り上げて欲しい議題。

- ・脱炭素とは・・・・・・・・・・ 7 %
- ・取組の必要性・・・・・・・・・・ 14 %
- ・事例紹介・・・・・・・・・・ 31 %
- ・省エネ・・・・・・・・・・ 13 %
- ・補助金・支援策・・・・・・・・ 22 %
- ・特になし・・・・・・・・・・ 10 %
- ・(自由意見)・・・・・・・・・・ 3 %
 - ・ S A F の製造工場の建設計画等知りたい。
 - ・ E N E O S 殿の G I 基金活用事例。

(5)「今後取上げて欲しいテーマ」

- ・引き続き”チーム千葉”として、空港・業界のサポートをお願いしたい。
- ・成田空港周辺地域の今後の開発計画・まちづくり計画について知りたい。
- ・空港経済と取り巻く需要予想。

[総 括]

- 今回、各会員から脱炭素における「事例紹介」・「補助金・支援策」への高い関心が示されたことから、会員意見を取り入れ、脱炭素に繋がる取り組みを検討・実施してまいりたい。

圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組

第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

～柏の葉に学ぶ産業集積と北千葉道路開通への期待～

令和3年度に国による新規事業化がなされるなど、整備に向け着実に進展する「北千葉道路」により成田空港とつながる東葛地域に焦点を当て、北千葉道路の整備促進や周辺開発・産業集積への機運醸成を図るセミナーを開催した。



講演する前田参与の様子



視察会場での吉崎様の様子

【展 開】

交通インフラ整備による沿線開発の好事例として、柏の葉スマートシティにおける産業集積の取組について学ぶとともに、東葛地域が更なる機能強化の進む成田空港とつながることで期待される経済活性化効果について共有し、北千葉道路の整備促進や周辺開発・産業集積への機運醸成を図った。

セミナーと視察を同時開催、視察については見学先の人数制限のため、2班に分かれて行った。

日 時：令和5年1月26日（木）

場 所：柏の葉カンファレンスセンター

参加者：30名（A班13名、B班17名）

● セミナー

①北千葉道路の整備と成田空港の機能強化による経済活性化

株式会社ちばぎん総合研究所 取締役社長 前田 栄治 氏

②柏の葉スマートシティにおける産業集積について

三井不動産㈱ 柏の葉街づくり推進部 グループ長 吉崎 典孝 氏

● 視察

①スマートセンター

②まちの健康研究所 あ・し・た

③公共空間の整備状況(公道・AIカメラ・調整池)

- ④三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド
- ⑤三井リンクラボ柏の葉

[関係・協力団体(会員)]

株式会社ちばぎん総合研究所、三井不動産株式会社

[アンケート結果]

- セミナーの内容について
 - 大いに参考になった・・・・・・・・・・ 29件、78%
 - ある程度参考になった・・・・・・・・・・ 8件、22%
 - あまり参考に参考にならなかった・・ 0件、 0%
- 今後の事業展開に成果・ヒントはありましたか
 - 大いに得られた・・・・・・・・・・ 18件、49%
 - ある程度得られた・・・・・・・・・・ 17件、46%
 - どちらでもない・・・・・・・・・・ 2件、 5%
 - あまり得られなかった・・・・・・・・・・ 0件、 0%
- その他意見
 - ・UDCKの街づくり、産学公の連携。成田空港と柏・船橋・鎌ケ谷が繋がっていくと感じた。
 - ・北千葉道路・スクエア構想・柏の葉の取組について理解が深まった。
 - ・たて割行政を排除すると、こんなにも色々な取組が可能になるのかと驚いた。
 - ・UDCKなど住民と共にまちづくりを行なっており、色々工夫されている点が参考となった。
 - ・「あ・し・た」など住民共催のプラットフォームは大変参考になった。

[総 括]

- 「北千葉道路」については、ちばぎん総研前田氏から「開通に伴う経済効果」及び「千葉イノベーションスクエア構想」について説明頂いたことで、千葉県における中長期的な展望を共有できた。会員からは、東葛地域(柏・船橋・鎌ケ谷)が成田空港と繋がっていくという意見も出た。
- 「柏の葉」については、三井不動産吉崎氏より、セミナー・視察が行われ、会員より、特に官民主体ではない、産学公の連携した産業集積のあり方に驚きの声が上がっていた。
- 今回、会員より改めて「産業集積」(セミナー内容・大いに参考、78%)への高い関心が示されたことから、引き続き、産業集積への機運醸成に繋がる取組を検討・実施していきたい。

(2) 空港利用促進事業

空港利用回復事業

新型コロナウイルスの影響によって、依然として航空需要が低迷しているなか、県内経済の回復のためには、早期の空港利用者の回復が望まれるところである。

こうしたなか、国際線に先行して利用回復の兆しが見られる国内線について、成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等を各種の施策、媒体を通じてPRすることにより、県内をはじめとした需要を喚起し、空港利用者の回復の後押しを行った。

[展開]

(1) 成田空港国内線利用者向けプレゼントキャンペーンへの賞品提供

成田空港周辺地域振興連絡協議会が主催する「成田空港国内線利用者向けプレゼントキャンペーン」に賞品を提供した。

- ・キャンペーン期間：令和4年10月20日（木）～12月20日（火）
- ・提 供 賞 品：千葉県 welcome コース
 - ①千葉県宿泊補助券（10,000 円分） 10 名様
 - ②酒々井プレミアム・アウトレットお買い物券（5,000 円分） 3 名様
 - ③鴨川シーワールド大人ペア入場券 3 名様
 - ④成田ゆめ牧場大人ペア入場券 3 名様
 - ⑤チーバくんグッズ詰め合わせ 3 名様



(2) アクアラインマラソンへのエコバッグ（トートバッグ）の提供
「ちばアクアラインマラソン2022」において、大会スポンサーの成田国際空港㈱と連携を図りながら成田空港利用促進に繋がるPRを実施した。

- ・日時：令和4年11月6日（日） 9:30～16:00
- ・場所：アクアラインマラソン メインイベントエリア
《フルマラソン参加者ゴール地点（旧木更津市役所駐車場）》
- ・内容：エコバッグ（トートバッグ）1,000枚 提供

成田空港ブースにおいて、当協議会で作成した国内線PRデザインのパネルを設置し、成田国際空港㈱担当者と一緒にエコバッグ（トートバッグ）の配布を実施した。また、成田国際空港㈱で用意した「ゼッケン留め（NAAロゴ入り）」をあわせて配布した。



イベントの様子

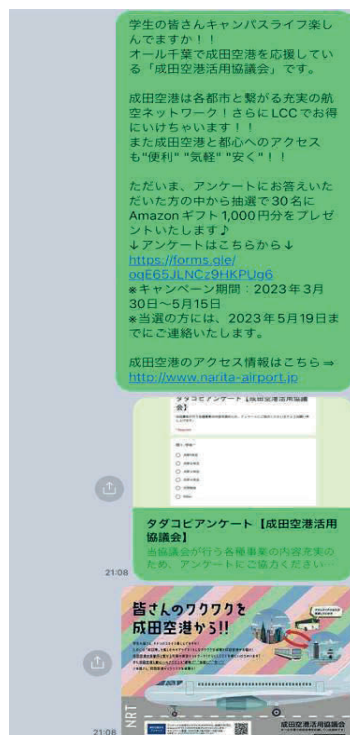
(3) コピー用紙への紙面広告の掲載、LINE配信

成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等をアピールする内容のコピー用紙（紙面広告）を作成し、全国の大学に設置してあるコピー機を通して幅広く浸透を図った。関連して、LINE配信とアンケート調査を実施した。

- ・利用媒体：大学生向け無料コピー・プリントサービス（タダコピ）
大学生向け公式LINE配信（スマートキャンパス運営公式LINE）
- ・実施時期：令和5年3月30日～5月15日
- ・数量：コピー用紙 50,000 枚（全国76大学86キャンパス）
LINE 配信 約 19,000 件（サークル・学生団体等のグループライン）
- ・アンケート：旅行に関するアンケートを実施
（回答者には抽選で30名にAmazonギフト1,000円分をプレゼント）



コピー用紙デザイン



LINE 配信イメージ

【アンケート結果】（令和5年3月31日現在）

回答数：358人（複数回答可）

●旅行先を決める時の参考媒体は？

- ・インターネット旅行サイト 259人（72%）
- ・Instagram 223人（62%）
- ・YouTube 121人（34%）

●旅行先で楽しみは？

- ・ご当地グルメ 316人（88%）
- ・自然 214人（60%）
- ・温泉 188人（53%）

(4) 第2回日本観光ショーケース in 大阪・関西への出展

大阪で開催された「観光ショーケース」へ出展し、成田-大阪路線（関空・伊丹）利用による関西圏からの誘客を図った。また、出展に際しては、会員との連携を図り、観光ショーケースの直前（3/10～21）に大阪梅田で開催していた県の期間限定アンテナショップに観光ショーケースへの誘導チラシを設置するほか、ガラガラ抽選会の賞品については、千葉県に関連したものに特化した。

なお、ブース内を装飾した撮影スポット用の背景写真、パンフレット及びガラガラ抽選会の参加賞の一部については、会員から提供を受けた。

- ・日時：令和5年3月24日（金）～ 26日（日）
- ・場所：インテックス大阪
- ・内容：
 - ① 来場者に対して成田空港の国内線利用実態のアンケートを実施し、回答者にはガラガラ抽選で千葉県に関連した賞品をプレゼントした。
 - ② 県内の景勝地等を組み合わせた撮影スポットを設置した。
 - ③ 千葉の魅力を発見してもらうため、モニターでの動画放映とパンフレットラックを設置した。



誘導チラシ



抽選会案内パネル



撮影スポット用の背景



ブース内の様子



抽選会の様子 ①



抽選会の様子 ②



チーバくん登場時の様子

- ・アンケート結果〔抜粋〕（回答数：767）
 - 千葉県に来たことがある方 85%
 - 飛行機の「成田－大阪線」を利用したことがある方 42%

今後、大阪でPR活動を行う場合には、これらの結果を踏まえながら、効果的な方策を検討する。

〔協力会員〕29会員

千葉県、成田国際空港㈱、㈱グリーンポート・エージェンシー、㈱秋葉牧場、
 ㈱グランビスタホテル&リゾート鴨川シーワールド、京成電鉄㈱、
 国立歴史民俗博物館、小湊鐵道㈱、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、
 成田空港交通㈱、県立房総のむら、銚子市、館山市、木更津市、松戸市、佐倉市、
 東金市、市原市、鴨川市、袖ヶ浦市、南房総市、匝瑳市、香取市、栄町、芝山町、
 一宮町、白子町、大多喜町、鋸南町

(5) 成田空港第1ターミナルビルパンフレットラックでのPR

緩和措置によるインバウンド需要に対応するため、訪日外国人を対象とした日本で提供されるサービス等が載っているパンフレットを成田空港内に置いて県内の魅力をPRした。

- ・実施時期：令和5年1月～令和6年3月
- ・掲出場所：成田空港第1ターミナル中央ビル1階（赤枠内）
- ・掲出実績：12会員（令和5年3月31日現在）



(6) イベント等での配布を目的としたエコバッグ、パンチボールの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのエコバッグ（トートバッグ）1,000枚、お子様向けのパンチボール500個を作成した。今後の活用協が関係するイベント等で配布することで、PR効果を高めていく。



エコバッグ（コットン素材）



パンチボール（色は5色作成）

[総 括]

- 新型コロナウイルスの影響が続く中、全国旅行支援や緩和措置によるインバウンド需要を取りこぼさないよう、会員と連携して事業を実施した。
- より効果的・多面的にPRするため、ターゲットを明確にし、大学生へ成田空港の利用促進、県・自治体や空港と連携した成田空港国内線ネットワークの認知度向上、及び訪日外国人へ県内の魅力発信等を行った。
- 次年度は、引き続き会員との連携を図りつつ、誘客に加えて県民の送客についてのPRも展開できるように計画し、成田空港の利用回復を後押しする事業を実施してまいりたい。

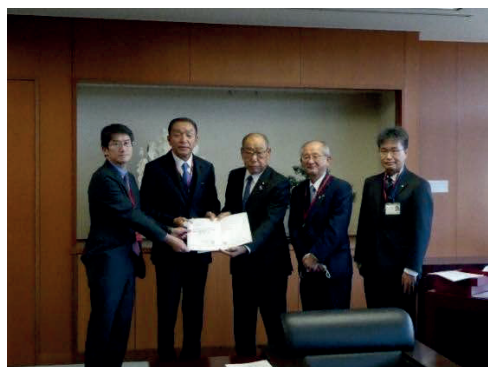
(3) 基本的な取組

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

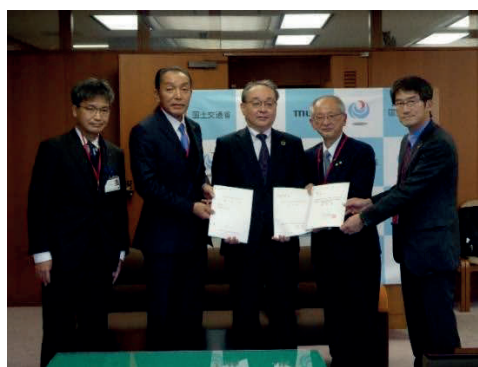
成田国際空港に通じる首都圏中央連絡自動車道(圏央道)及び北千葉道路の一日も早い開通を推進するため、要望活動を実施した。

県内関係2団体とともに、財務省、国土交通省及び県選出の国会議員を訪れ、直接、要望書を届けた。

要望活動の様子



国土交通省 豊田副大臣への要望



国土交通省 吉岡技監への要望



財務省 宮本大臣政務官への要望(財務省担当者による代理收受)

[展 開]

- ・ 日 時 令和4年11月24日(木) 13:00～
- ・ 参加団体 千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

《要望先》

- ・ 財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長 ほか7名
- ・ 国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、技監、道路局長 ほか29名
- ・ 県選出国会議員 29名

※ 内閣総理大臣、内閣官房長官、関東地方整備局、東日本高速道路株式会社及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への要望については、別途実施。

《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和6年度の開通に向け、確実に事業を進めること。
 - ・県境から大栄ジャンクション間の4車線化については、確実に事業を進めること。
また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に4車線化を図ること。特に事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く4車線化工事に着手すること。
 - ・（仮称）かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
 - ・神崎パーキングエリア（仮称）については、令和6年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア（仮称）については、早期供用を図ること。
 - ・圏央道のストック効果を最大限発揮させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。
- 1 北千葉道路の早期全線開通を図ること。
 - ・千葉道路（市川・松戸）については、早期整備を図ること。
 - ・市川市から船橋市間全区間については、国による早期事業化を図ること。
 - ・早期整備を図るため、市川市から船橋市間の専用部については、直轄事業と有料事業の合併施行とすること。
 - ・印西市から成田市間については、早期整備に向け十分な予算を確保するとともに、直轄施行区間については、引き続き4車線での整備を図ること。
 - ・国道464号の全線の直轄編入を図ること。
- 1 「アクアライン割引」に必要な予算を確保すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

[総括]

- この2つの道路は、成田国際空港の利便性向上及び経済効果を、千葉県全体・首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動が続けていく。

会員向け情報発信

会員に対する情報発信のため、当協議会の活動状況等をまとめたニュースレターを各会員に送付した。

[展 開]

令和4年度は、以下のとおり計7回発行した。

号数	内容	刊行年月日
第5号	・ 県内高校生を対象としたJAL体験型航空教室の開催 ・ 県内高校生を対象としたANA体験型航空教室の開催 ・ 地方創生と連動したDMO養成塾報告会の開催 ・ 第3回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催	令和4年4月21日
第6号	・ 令和4年度総会の開催 ・ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催	令和4年6月3日
第7号	【幹事会で承認された2事業の報告】 ・ おいしい千葉と空の商談会 2022 秋の開催 ・ 高等学校における航空／空港関連業種についての出張授業	令和4年8月5日
第8号	・ 空港利用回復事業「成田空港国内線利用者向けプレゼントキャンペーン」 ・ 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組「第2回県内経済活性化ビジネスセミナー 柏の葉に学ぶ産業集積と北千葉道路開通への期待」 ・ 脱炭素社会推進支援事業 ・ 空港利用回復事業（3つのテーマに沿った事業）	令和4年12月2日
第9号	・ 「おいしい千葉と空の商談会 2022 秋」の開催 ・ 東京 2020 大会のレガシーの活用 ・ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望	令和5年1月11日
第10号	・ 「航空・空港関連業種についての出張授業」の開催 ・ 「ランドオペレーターとの商談会」の開催	令和5年1月16日
第11号	・ 「県内高校生を対象とした体験型航空教室」の開催	令和5年3月31日

会員提案の募集・具体化

協議会として、期間延長後の初年度となる平成30年度からは、より一層のプラットフォーム機能を発揮し、事務局・会員間の連携の強化、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員自身が主体となる事業の創出・自走化を促進するという事業展開方針を掲げている。

こうした事業展開方針から、協議会としての事業は原則、各会員からの提案に基づき実施するという枠組みのもと、以下のとおり、会員自身が主体となり協議会を通じて取り組みたい事業、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業及びセミナー等について、各会員から提案や要望を募集し、事業化を検討・実施した。（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

[展 開]

- ・募集期間：令和4年12月23日（金）～令和5年1月20日（金）
- ・募集内容：第3期第1フェーズの実施事業及びセミナー
- ・提案状況：会員からの事業提案（14件）

《会員提案の検討・具体化》

令和4年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・アクティビティ（体験型）商品開発
- ・航空／空港関連企業との商談会
- ・ランドオペレーターとの商談会
- ・日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・成田空港・周辺地域と連携したワーケーション・テレワーク推進
- ・空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ・県内高校生を対象とした体験型航空教室
- ・空港利用回復事業

[総 括]

- 事務局による検討を行い、事業展開方針に合致する提案を協議会事業として位置づけ実施した。

(4)その他

プレスリリース

協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースなどにより、メディアへの掲載を図った。

《プレスリリース実績》 7件

①令和4年5月17日

「令和4年度成田空港活用協議会総会及び第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」

②令和4年5月23日

「成田空港活用協議会事業期間の延長について」

③令和4年10月26日

「おいしい千葉と空の商談会 2022 秋の開催について」

④令和4年11月2日

「『県内高校生を対象とした体験型航空教室』について」

⑤令和4年12月23日

「千葉敬愛高等学校において『航空・空港関連業種についての出張授業』を開催しました」

⑥令和4年12月23日

「成田から直通『B. B. BASE で行く！早春の南房総モニターツアー』の開催について」

⑦令和5年2月13日

「ランドオペレーターとの『商談会・交流会』の実施について」

《メディア等掲載実績》 14件

①令和4年 5月23日 千葉テレビ (WEB) 事業期間の延長に係る記事

②令和4年 5月24日 千葉日報 事業期間の延長に係る記事

③令和4年 5月24日 読売新聞 事業期間の延長に係る記事

④令和4年 5月24日 航空新聞社 事業期間の延長に係る記事

⑤令和4年 6月 4日 東京新聞 事業期間の延長に係る記事

⑥令和4年10月28日 日刊航空 おいしい千葉と空の商談会に係る記事

⑦令和4年11月 1日 千葉テレビ (WEB) おいしい千葉と空の商談会に係る記事

⑧令和4年11月23日 千葉テレビ (WEB) 体験型航空教室に係る記事

⑨令和4年11月24日 Aviation Wire (WEB) 体験型航空教室に係る記事

⑩令和4年12月 1日 千葉日報 体験型航空教室に係る記事

- ⑪令和4年12月13日 毎日新聞 体験型航空教室に係る記事
- ⑫令和5年 2月13日 千葉テレビ (WEB) B. B. BASE南房総モニターツアーに係る記事
- ⑬令和5年 2月16日 千葉テレビ (WEB) ランドオペレーターとの商談会に係る記事
- ⑭令和5年 2月25日 千葉日報 ランドオペレーターとの商談会に係る記事